

平成 25 年度 AOTULE 加盟大学との教育研究連携助成 採択者

〔研究者〕	
	<p>氏名 江頭 竜一（えがしら りゅういち）</p> <p>所属 国際開発工学</p> <p>職名 准教授</p>
〔タイトル〕	
国際開発工学を通じた AOTULE 加盟大学等との学生交流	
〔背景〕	
<p>国際開発工学科では、「国際開発工学コロキウム」（昨年度まで「国際開発コロキウム」、本年度より科目名変更）という授業科目において、学生をグループ分けし、そのグループごとに国際的な模擬プロジェクトを遂行、その結果の発表、討論、等を通して、個々の工学分野の統合、応用を体得させ、これらの重要性を認識させている。一昨年度より、このような学生自身で遂行した模擬プロジェクトに関して、他国の学生とも討論する機会を設けるべく、本助成金を利用して、最も評価の高かった学生グループを一昨年度は中国・清華大学および昨年度はマレーシア・マラヤ大学で開催されたAOTULE学生会議に派遣している。派遣した学生にとって貴重な経験となる上に、模擬プロジェクトに関する他国の学生からの様々な意見の収集、派遣学生だけでなく全受講学生の学生会議参加への意欲を発奮材料とした授業そのものの活性化、AOTULE学生会議を通じた学生交流の活発化、など多くの成果が得られている。</p>	
〔目的〕	
<p>本年度も、これまでと同様に「国際開発工学コロキウム」の受講生グループをタイ・チュラロンコン大学において開催のAOTULE学生会議に派遣し、模擬プロジェクトの内容について発表させる。また、本学科では「国際開発工学フィールドワークA/B」という授業科目において、所定期間のフィールドワークへの参加とその報告を課しているが、上記AOTULE会議への参加と合わせて派遣学生にチュラロンコン大学などのタイの大学、企業の工場、などを訪問、見学させ、このフィールドワークの試行ともする。</p>	
〔実施計画概要〕	
<p>上記「国際開発工学コロキウム」において、評価の高かったグループの学生6名（日本人4名、留学生2名（いずれも中国））をAOTULE学生会議に派遣する。本年度のAOTULE学生会議は、10月17～19日にタイ・バンコクのチュラロンコン大学で開催される。学生会議終了後もチュラロンコン大学内の見学ツアー、バンコク近郊の企業（味の素、日産）工場、などを訪問、見学する。学生の引率には申請者が1名で当たる。また、申請者は、他のAOTULEメンバー大学の教員と、AOTULE学生会議の際の本学科の本渡航プログラムについて情報・意見交換し、今後の本プログラムの拡充について探る。</p>	